

The University Times

February 2012 Vol. 18

<http://jtimes.jp/utimes>

produced by IELTS by STEP × The Japan Times ©THE JAPAN TIMES, LTD. 2012

CONTENTS

■ Visit a Global Company : グローバル企業訪問 株式会社ニコン 1 2	■ Journalist's Eye : 英字新聞記者の視点 「円高」 / 「商標トラブル」 3	■ Shu-katsu Counseling : 就活の不安を解消しよう エントリーシートの書き方 5	■ IELTS ライティングテストのコツ 7
	■ English for Careers : 就活英語を学ぼう 英文 Eメールの書き方② 4	■ University's Challenge : 国際交流に取り組む大学 世界を志向する国際教養大学 6	■ News in English 英文記事を読んでみよう 8

Visit a Global Company : グローバル企業訪問

映像や精密機器分野において 最先端のコア技術で 期待を超えて、期待に応える

Vol. 8 株式会社ニコン



戦後まもなく発売したカメラの品質と性能の高さで、世界にその名を馳せたニコン。現在も多彩な技術を駆使して、次の時代を育む新たな事業へ果敢にチャレンジし続けている。そんな同社が求める理想の人材とは？

ニコンといえばカメラ——。多くの人々がそうイメージするほど、特に一眼レフカメラにおいては確固たるブランドイメージを築いている株式会社ニコン。1917年の創業以来、培ってきた「光利用技術」と「超精密技術」を駆使し、現在ではカメラメーカーの枠を超えた多彩な技術・製品・サービスを次々と世に送り出している。国内外にグループ会社を擁し、今や海外での売り上げが約85%を占めるグローバル企業だ。

「ニコンの事業は大きく分けて3つ。半導体露光装置や液晶露光装置関連の事業を手がける『精機カンパニー』、カメラ関連事業の『映像カンパニー』、顕微鏡や検査装置、測定機関連の事業を展開する『インストルメンツカン

パニー』の3カンパニーを軸に、それぞれが世界をリードする存在として、日夜努力しています」

そう語るのは、人事部海外企画課マネージャーの小野寺正晃さん。ニコングループでは1999年より、各事業の独立性を高めることを目的に「カンパニー制」を導入し、一体感とスピードを生かしたワールドワイドな活動を展開している。

「特に今年は、ニコングループ全体の関係性を今一度見直し、さらにシナジー効果を高めようという動きがあります。昨年起きた東日本大震災や秋口に発生したタイの洪水被害などを契機に、ニコンのグローバルな絆やグループとしての存在意義が再認識されたた

めです」

そうでなくとも、もはや日本国内だけを見ている時代ではなく、約85%という海外売上割合が示すとおり、ビジネスの中心は完全に海外になっている。グローバル人材育成の姿勢は、すでに同社の教育制度にも色濃く現れている。

「研修については基本的に職層やカンパニーごとに分かれて必要な知識や技術を身に付けていくのですが、それとは別に本社人事部門が企画するプログラムがあります。特に力を入れているのが語学で、英語だけでもライティング、プレゼン、ミーティング、ネゴシエーションなど、加えて、中国語、タイ語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語など、多言語の講座が用意されています。逆に言えば、それだけ業務で外国語を使うケースが増えているということです」

語学力よりもボーダーレスマインド

こうしたニコンの語学研修の中でもさらに特筆すべきが、グローバル人材育成のための「海外語学留学研修制度」だ。

「近年、BRICsなどの新興国へのビジネス展開が加速していることを受け開始した、新興国向けの海外語学留学研修制度も3年目を迎えました。対象者は現地への駐在が前提で、一時的に仕事を離れ、朝から晩まで語学の勉強に専念するのが大きな特徴です。国内で2カ月間、赴任予定の国で半年間の語学研修の末、駐在員として派遣されます。主に20代の社員が多いのですが、カンパニーからの指名制ということもあって、社員は非常にモチベーション高く臨んでいますね。ここまで徹底した語学研修は例がないようで、注目を集めているようですが、われわれの考えとしてはあくまでビジネスありきです。日本でも仕事のできるビジネスパーソンを、英語以外の現地語を用いて仕事ができるように育てようとい



人事部海外企画課マネージャーの小野寺正晃さん

うのが狙いです。この研修によって学ぶことも多いでしょうし、可能性を伸ばすという意味では、海外駐在員に必要なスキルアップだけにとどまらない、その国の文化の吸収や人脈づくりも期待しています」

これだけ徹底して語学教育に力を入れている企業もそうはないかもしれない。同社の入社においては、さぞ高い英語力、語学力の要件が求められるのだろう。

「いえ、英語力についての基準等は特に設け



あらゆる製品に組み込まれているエレクトロニクスパーツの中核である先端LSIを製造するための半導体露光装置、ArF液浸スキャナー「NSR-S620D」



Visit a Global Company

グローバル企業訪問

ていません。もちろん、海外での仕事が増えているので、英語が得意であることに越したことはないですが、語学力だけで採用しているわけではありません。先輩社員の中には、学生時代は語学が得意ではなかったものの、入社してから勉強して海外に出向している人も少なくありません。大事なのは初めから語学ができるということよりも、異文化を許容することのできるボーダーレスマインドや広い視野を持っていることです。こうした考えを持っ

ている人であれば語学力は自然と伸びると思います。そのポテンシャルを引き出し、原石を磨きあげることが、私たち人事の役割と考えています」

最後に小野寺さんは、ニコンの求める人材についてこう語ってくれた。

「ひと言で言えば、『チームのために自分で考え行動する人』。先ほども絆ということを申しましたが、まずはチームワークや協調性、協働するというマインドがグローバル化におい

ては重要です。そして次に大切なのが、自ら考え行動するという部分。決して人任せではなく、自分の考えを持ち、それらを行動に移す。結果、周りを巻き込んでいく力を持つ人を求めたいと考えます。もちろん製造から販売、サービスまでさまざまな部門がありますし、組織にはいろいろなタイプの人が必要です。求めている人物像は画一的なものではありません。しかし、心構えや姿勢は共通して欲しいと考えます」



株式会社ニコン

1917年(大正6年)創業の精密機器メーカー。設立以来、国内外の市場において、光学技術のバイオニアとしての道を切り開いてきた。現在、デジタルカメラを中心としたカメラ関連製品や双眼鏡などの消費財光学製品から、半導体露光装置、液晶露光装置、顕微鏡、測定機などの産業用精密機械まで、高い技術力をもとにさまざまな製品を提供している。
http://www.nikon.co.jp

グローバル企業の先輩に聞く！

大切なのはきれいに話すことより
言いたいことをいかに伝えるか

小川 真弘 さん

株式会社ニコン
映像カンパニー マーケティング本部
第二マーケティング部 営業課

2003年入社。映像カンパニー生産本部を経て、米国販売会社のNikon Inc.に6年間勤務。現在は映像カンパニーマーケティング本部で、日中韓を除くアジア地域の窓口を担当。海外販売会社の営業サポートを行う

Q お仕事内容を教えてください。

A 海外販売会社の営業活動を本社側よりサポートする仕事です。香港にあるNikon Hong Kong Ltd.が現在、日本・中国・韓国を除くアジア市場すべてを管轄しているのですが、その市場の販売動向を確認しながら、販売会社側の担当者に商品の提案や適切な調整を行うのが私の役目です。入社後はアメリカの販売会社と本社営業窓口として、製品供給の管理や生産管理の立案などを行っていました。アメリカ担当だったこともあり、縁あ

て米国販売会社のNikon Inc.に出向することになったのが2005年12月。向こうに行くと立場が一転して、日本から商品を仕入れて販売する側となりました。

日本とは電話やメールで連絡を取り合い、そこで得た供給情報や課題などを解決して、現地の営業社員への情報共有を行います。実はこれらの作業は非常に重要で、物を売る者としては生命線です。製品の供給状況が分からない限りは受注できませんし、商品が来ないことには販売もできません。それらの情報を伝えて、攻めるのか守るのか、そういっ

た部分についてもセールスパーソンと折衝するのも私の業務でした。

Q アメリカと日本の仕事の違いは？

A 日本のカメラ店では、大きなお店であればほとんどのメーカーの商品を置いていますが、アメリカの場合、例えばウォルマートのような大手量販店では、非常にラインナップが限定されています。基本的には売れ筋商品のみ。われわれとしては、全種類のカメラを売ってほしいという話をしに行くのですが、置いてもらえるのは最大でも7割か8割程度。そこで採用される数が確保できないと、当然当社の販売金額やシェアも低くなってしまいます。つまり、自分たちの商品をいかに置いてもらえるかが、アメリカでは非常に重要なのです。そのため、こういった商品が求められているという市場のニーズについては、私が出た商品供給部門だけでなく、マーケティングや市場調査の部門からも常に本社にフィードバックしています。

Q 英語は得意だったのでしょうか？

A いえ、まったく。ニコンを志望したのも、もともとカメラが好きで、光学関係の仕事に就きたいという理由からで、学生時代から英語を勉強してきたとか、帰国子女であるとかそういう要素は私にはありませんでした。とはいえ仕事ですから、英語が不得意だろうとやるしかありません。最初は海外とのメールのやり取りが主でしたが、英語が堪能な先輩社員にアドバイスをもらいながら、何度も繰り返し書くことで徐々に慣れていきました。また、英会話の指導も併せて行っていただくなど、その先輩には大変お世話になりましたね。

Q 海外での生活で苦労したことは？

A やはり一番は言葉でしょうか。赴任に備えてCD教材を使っていたので勉強もしていたのですが、教材のスピーチがスローモーションで聞こえるくらい、実際のアメリカ人の会話は早口なのです。彼らは相手が日本人だからといっ



Nikon Inc. 副社長と小川さん

て、ゆっくり話すことはしてくれません。それは仕事でもプライベートでも一緒。逆にそういった手加減なしの環境だったからこそ、死に物狂いで覚えたという部分も大きいと思います。仕事では、要点が分からなければ確認して、分からないまま流してしまうということはないよう徹底しました。言葉はきれいな発音で話すことよりも、自分の言いたいことをいかに的確に伝えるかということのほうが重要だと思います。

Q 海外だからこそそのやりがい？

A 日本で一担当者だったときよりも、仕事の裁量や任せられる範囲が広がったという点では非常に充実感がありました。日本への帰任が決まった時には、もう少し残りたいという思いが込み上げてきました。

Q 学生へのアドバイスをお願いします。

A いざ海外に行くというときに、「まったく話せないけど気合いだけはあります！」というのではかなり大変なので、ぜひ今のうちから勉強しておくことをおすすめします。また、ニコンで働いている人はみな人間関係を大切にしている人ばかりです。人と人との輪が繋がって会社になるという意味では、非常に働きやすい会社です。ぜひ一緒にニコンの商品を世界に広げていきましょう！

小川さんのお仕事アイテム



「2007年の6月に全世界に先駆けてアメリカでiPhoneが発売され、喜び勇んで発売日翌日に買ってしまいました(笑)。一番うれしかったのは辞書アプリが使えること。どこに行くのでも常に電子辞書を携帯していたのですが、iPhoneで英和辞典が使えるとあってすごく重宝しました」

Journalist's Eye

英字新聞記者の視点

日本のニュースを英語で発信しよう！

英字新聞 The Japan Times 記者が語る
日本の「今」を世界に伝えるための心得

—— Vol. 8 by Jun Hongo

日本で起こっていることを外国人に伝えるときに必要なのは、英単語の知識や会話力だけではない。物事の背景を理解し、それを外国人にわかりやすく説明するスキルが求められるのだ。このコーナーでは英字新聞 The Japan Times の記者に、記事をより深く理解し、自ら説明できるようになるためのコツを教えてもらう。今回は、経済ニュース担当の本郷淳記者に、円高の日本経済への影響と、お菓子の商標トラブルについて伺った。



企業の景観は悪化している

KYODO PHOTO

■円高で日本の景気は悪化している？

- Business sentiment among large manufactures deteriorated according to the Bank of Japan's quarterly "tankan" index, underscoring the growing concern over Europe's sovereign credit risk and the persistent rise of the yen.

- ヨーロッパの国家信用リスクと持続的な円高を強調する日本銀行の四半期「短観」
- 指標によると、大手製造業の景気観は悪化した。

日本銀行の「企業短期経済観測調査」すなわち「短観」は、ビジネスに関心の高い外国人の間でも“tankan”として知られ、日本の景気の現状を知る重大な指標とされています。これは、全国の約1万の企業を対象に業績や業況の調査を行うものですが、昨年12月に発表された短観によると、3月の東日本大震災の後にいったん持ち直した景気観が、再び落ち込んでいることが分かりました。これは、一昨年ごろから続くユーロの信用不

安と、一向に回復しない円高に大きな原因があるようです。

なぜ円高が不景気につながるか

「円高だと外国製品が安く買える」と思いますが、日本の経済は車や電気製品など、輸出に依存している部分が大きいので、円高が続くとあまり利益が上がらないのです。米ドルは昨年夏から1ドル70円台が続いていますが、取引規模の大きい企業では、数円単位の為替変動が数千億円

という利益の違いにつながりかねません。

円高を緩和する方法の一つに、財務省と日本銀行が行う為替介入があります。これは、急激な為替の変動が起こった際、経済への影響を抑えるために行われるもので、円を下げるには、市場で円を売ってドルを買います。介入をすると市場が一時的に落ち着くのですが、しばらくすると元の動きに戻ってしまいます。現在の円高の場合、日本だけではなく、アメリカやヨーロッパの国々とともに協調介入すると良いのですが、アメリカにとってはデメリットばかりとも言い切れず、真剣に介入しようという動きは見られません。ドルが安ければその分アメリカの商品を買ってくれる国が増え、アメリカに利益をもたらすかもしれないからです。

ヨーロッパは、ギリシャのようにユーロ圏の中で経済的危機にある国を救済することができず、現在のユーロ安につながっています。主要通貨の中で日本円の

み信用が高いように思えますが、日本がよい状況にあるというわけではありません。アメリカやヨーロッパに比べると日本のほうがまだ安定感があるということで、投資家の信用が集まっているのです。

常にグローバルな動きを意識する

日本の政府や企業の対策としては、海外企業の買収、生産拠点の海外移転があります。政府は海外向けに買収・投資・輸出などを行う企業に融資をするための基金を設定するなど、これまでになく試みが行っていますが、国内の産業が衰退するのではないかと、「産業の空洞化」も懸念されています。

いずれにせよ、今は日本国内だけを見ても、これから経済の動きがどうなるのかといったことは分かりません。日々海外のビジネスニュースに目を通すと、必ず何か役に立つことが見つかるはずですよ。

* 参考記事 <http://www.japantimes.co.jp/text/nb20111216a2.html>

■「白い恋人」が「面白い恋人」を訴える

- Ishiya Co., known for its Shiori Koibito (White Lover) cookies, slapped Osaka-based Yoshimoto Kogyo with a lawsuit when it began marketing its waffles under the Omoshiroi Koibito (Funny Lovers) brand name.

- 「白い恋人」というクッキーで知られる石屋製菓は、大阪を拠点とする吉本興業を訴えた。吉本興業は、「面白い恋人」というブランド名で、ワッフル（ゴーフレット）を売り始めたのである。

The Japan Times の読者は、普段から日本の文化に興味を持っている人が多いので、ほかの英字紙では取り上げないようなこういう話題もよいのではないかと思います。記事にしてみました。

「白い恋人」は、よく知られている北海道土産のお菓子ですが、そのパロディとして、大阪の吉本興業が「面白い恋人」というお菓子を出したのです。「面白い恋人」の中身はクッキーではなくゴーフレット（英語では waffle）で、売られているのは主に関西圏ですが、その商品名とパッケージデザインが似ている点を石屋製菓が問題視し、商標権侵害と不当競争防止法により、販売禁止を求める訴訟

を起こしました。「面白い恋人」を「白い恋人」と間違えて買い、石屋製菓に苦情が持ち込まれたという例もあったようです。

「お土産」を英語にすると？

これを英語で記事にするに当たり、まず「白い恋人」「面白い恋人」をどう表現するかという問題がありました。音が似ているところを出す必要があったので、結局 Shiori Koibito (White Lover)、Omoshiroi Koibito (Funny Lover) としたのですが、Funny Lover は英語としてはあまり意味をなさず、ただ omoshiroi という言葉の意味を理解してもらうため

につけたものです。

意外に理解されにくいのが、「お土産」という概念です。日本では観光地にその土地ならではの土産物があって、旅行に行くとき家族や友人・知人または自分のために買って帰るのが習慣となっていますが、海外ではそれほど「お土産文化」が発達していません。そこで、当初「記念品」という意味を持つ souvenir という言葉をあてていたのですが、ネイティブスピーカーのエディターの提案により、“omiyage” (souvenir) と付け加えることにしました。やはり souvenir だけでは、ニュアンスが伝わりにくいと思ったのでしよう。



北海道製菓「白い恋人」(左)とそのパロディ「面白い恋人」

KYODO PHOTO

外国人にも知られている YOSHIMOTO

吉本興業は、日本に関心のある外国人の間ではよく知られた存在で、記事の中に出すのにあまり苦勞はありませんでした。最低限の説明として、entertainment conglomerate (エンターテインメント企業)、known for managing many of Japan's top comedians and entertainers (日本のトップの芸人やタレントのマネジメントで知られた) などを入れてあります。吉本興業はホームページに英語での自社紹介も入れているので、外国人に説明するときには、そういったものも参考にするといいですよ。

* 参考記事 <http://www.japantimes.co.jp/text/nn20111202f3.html>

●今月の記者●

本郷 淳さん
JUN HONGO

2006年入社。法務省、官邸、厚生労働省などの担当を経て、現在は日本銀行、財務省、金融庁の担当。主にビジネス、経済のニュースを扱っている。

English for Careers

就活英語を学ぼう

第8回

英文 Eメールの書き方②

by 株式会社アイベック スコット・シーリー、植草 良將

前回に引き続き、ビジネスで即実践できる英文メールの書き方をご紹介します。今回は、相手との関係を良くするための重要な感謝の表現方法や、返事が遅れたときの表現、丁寧な依頼の書き方をご紹介します。

感謝の表現

感謝の表現には、下記のような書き方があります。

Thank you (sincerely/very much) for ...
 ...を(誠に)ありがとうございました。

I am (very/truly) grateful for...
 ...に(誠に)感謝しております。

I (sincerely) appreciate...
 ...に(誠に)感謝します。

appreciate は他動詞で、for がつかないことに注意しましょう。以下のような非常にフォーマルな表現もあります。

Please accept our sincerest thanks for ...
 ...に心より感謝申し上げます。

We would like to express our sincere gratitude for ...
 ...に心より感謝申し上げます。

すでにしてもらったことだけでなく、「ご理解/ご協力のほどよろしく願っています」というようなことを表現したい場合には、以下のように表します。

Thank you (in advance) for your understanding.
 ご理解ありがとうございます。

Thank you (in advance) for your cooperation.
 ご協力ありがとうございます。

in advance と書き、これから起こることだと明確にすることもあります。

返事が遅れた場合

返事が遅れた場合、日本語だと「申し訳ございません」で終わってしまいがちですが、英語では前向きな書き方をこころがけましょう。

I wanted to reply to you earlier, but ...
 もっと早くお返事を差し上げたかったのですが...

I meant to answer much earlier, however ...
 もっと早くお返事を差し上げようと思っておりましたが...

I meant to reply much sooner, however ...
 もっと早急にお返事を差し上げようと思っておりましたが...

I'm sorry I didn't respond earlier because ...
 早急にご返信できず申し訳ありませんでした。というのは...

依頼の表現

依頼の表現は、丁寧さに応じて、下記のような書き方があります。

Would it be possible for you to ...?
 ...することは可能でしょうか。

We would appreciate it if you could ...
 ...していただけるとありがたく存じます。

If it is not too much trouble, we would like you to ...
 もしご迷惑でなければ...していただきたい。

If it isn't too much bother, could you maybe ...?
 差し支えないようでしたら...していただけますか。

We would like to request that you ... if at all possible.
 可能であれば...をお願いしたいのですが。

期日の表現

期日の確認は大切です。依頼のメールには、きちんと期限を入れましょう。右の英文メールの具体例では丁寧な言い方をしていますが、The deadline for this is ... (この締め切りは、...までです) というような事務的な表現もあります。以下は、さまざまな期限の表現です。

by the end of this month
 今月の末日までに

by the first week of March
 3月の第1週までに

in the middle of next month
 来月の中旬ごろ

during working hours tomorrow
 明日の就業時間内に

at least two weeks in advance
 少なくとも2週間前には

three weeks ahead of time
 3週間前には

from August 23 to 25
 8月23日から25日に ※「to」を「-」に置きかえても構いません。

in about two weeks
 約2週間後に

期限の表現「～までに」は、基本的には by を使います。until は「～まで(…をずっとしている)」の意味ですので、混同しないようにしましょう。

We need it by Friday.
 金曜日までに必要です。

We will be on vacation until next week.
 来週まで休暇期間です。

年月日は、フォーマルな表現だと、以下のような書き方があります。

アメリカ式 April 1, 2012
 ヨーロッパ式 1 April 2012

以下は英文メールの具体例です。

《英文 Eメールの具体例》

Dear Kazumi,

Thank you for your mail. I'm sorry I didn't respond earlier because I was on a three-day business trip.

Attached is the draft contract you requested. We would appreciate it if you could have your legal team look it over as soon as possible and confirm your acceptance of the terms.

If you have any questions, please don't hesitate to contact me.

Thank you sincerely in advance for your understanding.

Best regards,

Ryuichi Yamamoto
 Principal
 Yamamoto Academy

● 重要なポイントを押さえておきましょう ●

I'm sorry I didn't respond earlier because ...
 返事が遅れたことのお詫びと、理由を説明します。

Attached is the draft contract you requested
 Attached is...は「添付したのは...です。」という決まり文句です。Attached please find...などという表現もあります。you requestedは「ご依頼の」という意味です。

We would appreciate it if you could...
 「...していただけるとありがたく存じます」という決まり文句です。

have your legal team look it over as soon as possible
 「貴社の法務班に至急目を通してもらう」という意味です。

Thank you sincerely in advance for your understanding.
 「ご理解の程よろしくお願い申し上げます」

いかがでしたか？ 次回も英文メールの書き方についてご紹介します。

PROFILE

スコット・シーリー (Scott Seeley)
 コーネル大学(ニューヨーク)で修士号(心理学)と学士号(生物学)を取得。英語学校マネージャーを経て、株式会社アイベック講師ビジネスライティングトレーニングマネージャー兼採用担当マネージャー。日本語と英語のバイリンガル。多数の企業より指名を受け活躍中。



植草 良將 (Yoshimasa Uekusa)
 東大文学部卒業。東大大学院人文社会系研究科修士課程修了。専攻は言語学。英文 Eメールライティングなどの学習指導・教材開発を手がける。実用英語技能検定1級。趣味はヴェーダとサンスクリット語。修士論文のテーマはインド・スリランカのタミル語。



世界基準のビジネス英語能力テスト

BULATS

The Business Language Testing Service

世界約47カ国1,172団体、
 日本でもすでに350以上の企業・団体が採用

詳細は www.eiken.or.jp/bulats

お問い合わせ tel 03-3266-6366

mail stepbulats@eiken.or.jp

世界と繋がるために

Are you sure your message is getting through?

BULATS

Fast, reliable, and global



Shu-katsu Counseling

就活の不安を解消しよう

ブンナビ編集長の就活相談ABC

文化放送キャリアパートナーズ 玉造 剛

冬休みも終わり、大学では期末試験の時期ですね。就活生のみなさんにとっては、テストと就職活動が重なってしまう最も苦しい時かもしれませんが、テストは卒業にも影響を及ぼしますのでぜひとも頑張ってください。そして、ここ乗り切るとエントリーシートの提出ラッシュが始まります。今回はこのエントリーシート作成でつまづかないためのアドバイスをしていきます。

【今月の質問】 第8回 エントリーシートの書き方に確信が持てず不安です。

エントリーシートの機能そのものを知ろう

皆さん、就職活動は順調ですか？ エントリー開始から約2カ月が経過しましたが、怒りの情報量と選択肢の多さに頭の中が真っ白になっている方も少なくないかもしれません。しかし、その迷いや不安の原因は「知らない」「わからない」ことに尽きます。それを解消する方法はごくシンプル。仕事・働き方の本質をつかむまで、徹底的に業界・企業研究を行うしかありません。やり続けることで、ある時ふと自分の志望がおぼろげに見え始め、霧のように迷いがパツと晴れる日が来るはず。焦る気持ちは相当だと思いますが、今は自分を信じて業界・企業研究に取り組んでいきましょう。

今回の本題ですが、1月末になるので、そ



「ブンナビ! 2013」では、昨年の大手人気企業(7業界 250社)のエントリーシートを公開中!

ろそろエントリーシートの提出が気になり始めている頃だと思います。確信が持てない。つまりは採用側がエントリーシートのどこを評価するのかが分からないので、何を書けば良いのかが分からないということだと思います。そもそもエントリーシートとは何なのでしょう? 書類選考を行う企業にとっては、その書類自体が合否を決める評価の対象ですし、面接時の参考資料としても使われます。エントリーシートという「結論から先に書く」や「ワンセンテンスを短くまとめる」といった、作成するうえでの細かいテクニックばかりに目が行きがちですが、それよりも機能を本質的に捉えることが重要で、それが分かれば書くべきことは自ずと見えてきます。

自己PRには企業側が求める正解がある!

どの企業のエントリーシートでも必ず問われるのが「学生時代に力を入れて取り組んだことは?」という設問です。学生側からすれば、この設問で自己PRをすることになるのですが、企業は決して学生の自慢話を聞きたいわけではありません。結論から言えば、「仕事への適性」を判断するための設問なのです。つまり自己PRは、自分の言いたいこと、ありのままを表現する場所ではなく、企業側が求める「正解がある」設問だということをまずは理解してください。

そこで皆さんには、志望企業の入社案内をもう一度じっくりと見返してほしいと思います。そして、「この仕事で活躍するためにはどういう能力が必要か」ということに注目しながら、ここだと思ふ部分に線を引きながら読み進めてください。というのも、入社案内には、実際の仕事の様子が社員を通じて紹介されています。ここに登場しているのは企業を代表する人たちですから、その紹介文の中には、「フットワークの軽さ」「競合他社に負けない根性」「お客様と深い信頼関係を築く」「社内の技術者と協調する」「日々変化する状況に柔軟に対処する」などといった、会社が社員に期待する役割や能力が文章中に散りばめられているはず。実は企業は、仕事に必要な行動特性を、皆さんの過去の経験から抽出しようとしているのです。

そう考えると「何でも書けばいい」ということにはなりません。自己PRにおける答えは「企業が求める人材像」にあり、相手が何を聞きたいのか、自分という商品とどんな企業が求めているのかを見極め、大学時代の経験のある程度リンクさせて書くことを心がけてください。これはエントリーシート作成のためのテクニックの話ではありません。仕事というものは、お客さまが何を求めているかによって自分のすべきことが決まるわけで、それはビジネスにおいても就職活動においてもまったく一緒です。

考えや価値観がなければ評価できない

エントリーシートのもう一つの重要な設問が、「当社を志望した理由を教えてください」「当社ではどんな仕事がしたいですか」といった志望動機を問うものです。志望動機については、悪い例を挙げていったほうが分かりやすいと思います。

学生に多いのが、相手の企業のことを単にほめているだけの志望動機。「魅力的な食品を消費者に提供して、人々の生活を豊かにしたい」「社会を支えるインフラづくりに私も参加したい」などです。会社の事業について評

価し、共感しているということは伝わってくるのですが、仕事に何を求めているか、具体的に何をしたいのかという部分、一言で言えば「価値観」が決定的に抜け落ちてしまっています。志望動機というのは言うまでもなく、「あなたが」会社を志望する理由を聞くものですから、考えや価値観が書かれていなければ、採用側はあなたという人物について評価することができません。

また、仕事への理解が浅いと感じられる志望動機も評価は低いです。例えば上記の「魅力的な食品を～」という回答ですが、食品メーカーの営業職の場合、スーパーに買い物に来る主婦や子どもたちは直接のお客さまではありません。では営業が日々やりとりする相手は誰か? 量販店のバイヤーです。実際の仕事の内容としては、商品の動きを見極め、適正な量の商品を納入し、効果的な陳列をして売上を伸ばしていくこと。当然、競合他社も同様の動きをするので、卸値の交渉や陳列場所の確保などを店側と交渉し、自社に有利な条件を引き出すのが重要な仕事となります。現実の仕事への理解が不足している志望動機では、採用側は「入社後に現実を見て、離職するのではないか?」というリスクを感じてしまいます。仕事の苦勞を理解した上で、それでもやりがいを感じ、自分の将来を重ね合わせて考えることができているかどうか。企業はここを見ている。自己分析から分かった働くことに関する自分の価値観と、仕事への深い理解。この2つがそろって、初めて評価される志望動機が完成するのです。

繰り返しになりますが、エントリーシートは書類選考だけでなく面接資料としても使用される重要なものです。面接の成否もエントリーシートの段階で決まるといっても過言ではありません。時間はまだあります。企業が望んでいることは明確ですから、落ち着いてこれまでの就職活動の成果をエントリーシートにぶつけましょう!



PROFILE

玉造 剛
ブンナビ編集長。採用コンサルタントとして、採用計画立案から面接官のトレーニングまで、数多くの企業の新卒採用にもかかわる。
ブンナビ
<http://bunnabi.jp/>

ジャパントイムズの本

★書店に小社の出版物がない場合は、書店または小社までご注文ください。

新刊

英語リスニングのお医者さん 集中治療編

DR. ENGLISH'S
LISTENING CHECK-UP
INTENSIVE CARE UNIT

西蔭浩子 著 定価1,890円(税込) CD2枚付

累計13万部のロングセラー「お医者さんシリーズ」に新作登場。自然なスピードの英語に対するアレルギーを、「音」「意味」という2つの側面から徹底的に治療!

リスニングチェックアップ(検診)であなたの聴き取れない原因を診断。症状に合わせた的確な解説(処方箋)とワクチンで、リスニング力がアップする。



新刊

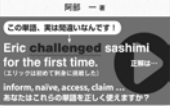
9割の日本人が 使い方を 間違える 英単語101

阿部一 著
定価1,470円(税込)

コアの意味を捉えたイラストと丁寧な解説で英単語の正しい使い方が身に付く。

この文の間違いが分かりますか?
●エリックは初めて刺身に挑戦した
Eric **challenged** sashimi for the first time.

9割の日本人が
使い方を
間違える
英単語101



University's Challenge

国際交流に取り組む大学

幅広い教養と語学力を習得した 世界で活躍できる人材を育成

国際教養大学

「これまでの日本には存在しないグローバル・スタンダードの大学を創り、世界に挑戦する」というスローガンを掲げて2004年に開学した国際教養大学。特色あるカリキュラムや驚くべき就職率で、国内外から注目される存在となっている。その魅力を探るべく中嶋嶺雄学長にお話を伺った。

国際色豊かなキャンパスで学ぶ

秋田市郊外にある自然に囲まれたキャンパスは、学生たちの学びの場であり生活の場でもある。キャンパス内に学生寮や学生アパートが完備されており、1年生は全員が寮生活を送る。国際教養大学(AIU)には毎学期100人以上の外国人留学生が訪れるが、彼らもまた同じ寮に暮らしている。日本全国、世界各国から集まる多種多様な仲間との共同生活も、AIUの教育プログラムの一環なのだ。「AIUでは、勉学の面だけでなく、課外活動や寮生活を通して国際社会や地域社会との交流を深め、人々とのコミュニケーション力を養い、



中嶋嶺雄学長・理事長は、東京外国語大学元学長。専門の現代中国政治について欧米の諸大学で教鞭を執ってきた経歴を持つ

真のグローバル人材を育成することを目指しています」と中嶋嶺雄学長は語る。

AIUでは、幅広い教養と外国語のコミュニケーション能力を培う「国際教養(International Liberal Arts)」を教学理念に掲げており、学部は「国際教養学部」のみとなっている。「教養教育は大学にとって不可欠なものです。とくに、学部では幅広く多様な教養と英語をはじめとした外国語運用力を身に付けることが重要です。専門教育はその上に成り立つものであり、学部では教養を、大学院では専門を、というのが私の持論です」

「英語で学ぶ」ための英語力を習得

国際教養を身につけるためのAIUのカリキュラムは、3つのステップからなっている。AIUの授業は原則として英語で行われるため、本科に入る前に、それに耐え得る英語力を習得するための「英語集中プログラム(EAP)」を受講することが義務付けられているのだ。入学後にプレースメントテストを受け、その結果次第で初級・中級・上級の各レベルに振り分けられる。EAPには「英語で学ぶ」ための英語力を習得するための実践的な授業だけで

なく、学内にある「言語異文化学習センター(LDIC)」を利用した自主学習も組み込まれている。そして、EAPで学び基準点以上を取得すると、本科である「基盤教育(BE)」に進むことができるのだ。

基盤教育では、芸術・人文科学、社会科学から数学・自然科学まで幅広い学問分野について学習する。どのクラスも原則的には15名程度の完全少人数制で、学生自らが考え、意見を発表する機会が多く設けられている。さらに「専門教養教育」へ進み、「グローバル・ビジネス課程(GB)」と「グローバル・スタディーズ課程(GS)」に分かれて学ぶ。進級基準は厳しく、4年で卒業できる学生は全体の半数余りだという。「本校ではEAPの修了も単位認定も、厳格に審査しています。厳しい環境で自らに磨きをかけたAIUの学生は、たくましく粘り強い人間へと成長するのです」

全学生が1年間の海外留学を経験

AIUのカリキュラムのもう一つの特徴が、1年間の海外留学が義務付けられていることだ。AIUの海外提携先は38の国と地域、130大学にも上り、学生は交換留学生としてこれらの提携先に派遣される。すべての学生が日本を飛び出し世界を体験することで、多様な価値観や文化を肌で感じ、人間的にも大きく成長するという。そして、住み慣れた日本を離れることで、母国の良い面も悪い面も客観的に見られるようになる。「これらの経験は、世界を舞台に活躍する人材には不可欠な要素です。私たちが育てたいのは、英語ができる日本人ではありません。豊かな国際教養やセンス、世界で通用する論理的思考力などを兼ね備えた人材なのです」

AIUに注目しているのは教育界だけではない。多くの一流企業の採用担当者がAIUに足を運び、学生の確保に奔走するという。近年、大学卒業者の内定率が60～70%台に低迷する中、AIUでは例年ほぼ100%の就職率を誇っている。その就職内定先も、大手商社やメガバンク、政府機関をはじめ名だたる企業・団体だ。なかでも国内メーカーへの就職希望者が多いのが特徴で、「海外留学を経験することで、日本のものづくりの伝統や技術に興味や誇りを持つようになる学生が多いからかもしれません」と中嶋学長は分析する。

学びを支える充実した学習環境

充実した施設が完備され学習環境が



図書館は建築家・仙田満氏の設計で、「本のコロセウム」をテーマとした全国にも例を見ないユニークなデザインの建築物。秋田杉を使用し、伝統技術を生かした傘型屋根の開放的な構造となっている

整っているのもAIUの魅力の一つ。なかでも目を引くのが、大きな半円状の建物、図書館だ。24時間365日休むことなくオープンしており、熱心な学生の学びを支えている。6万5,000冊以上の蔵書や視聴覚資料などもそろい、とくに日本の歴史・文化に関するもの、人文科学と自然科学に関する洋書を豊富に所蔵しているという。

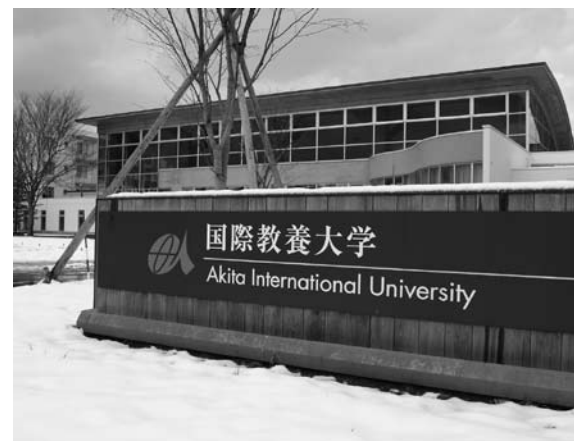
また、同じ建物内には前述の「言語異文化学習センター(LDIC)」もある。LDICは学生が興味のある外国語を自主学習できる施設で、なんと世界の35言語(2010年11月現在)の教材がそろっている。閲覧スペースのほか、防音加工された個別ブース(スピーキング・リスニングルーム)やグループ学習に適した多目的学習ルーム、語学試験対策学習用のスペースなど、公立大学とは思えないほどの素晴らしい設備が整っている。また、教材や学習方法をアドバイスする専任スタッフが常駐しており、自主学習を支える体制も整っている。さらに、留学のための英語力証明試験IELTSの実施もキャンパスで年2回行うなど、試験環境の整備にも力を入れている。

日本の高等教育、英語教育を変えたい

特色あるカリキュラムとそれを支える環境が整ったAIU。その構想段階から携わってきた中嶋学長は、現在の日本の教育をどのように見ているのだろうか。AIUの今後の展開と合わせて、最後に伺った。

「AIUの出発点は、日本の高等教育システムへの懐疑です。大学は社会で即戦力となる人材を送り出す機関なのでしょうか。そうだとすれば、その目的を達成している日本の大学は数少ないでしょう。私は、大学というのは社会で役立つ即戦力ではなくそのベースを培うところだと考えています。だからこそ、国際教養を身に付けることを主眼にした大学を創ったのです」

加えて、日本の英語教育はどうだったでしょうか。中学校から大学まで約10年間の英語教育を受けた結果、英語が使える日本人はどれほどいるのでしょうか。グローバル化の時代に日本人の英語力をどう鍛えていくかということは、日本の国益にもかかわる問題です。いま日本の英語教育を抜本的に変えていかなければ、日本は完全に世界の流れに乗り遅れてしまうでしょう。私たちAIUは、国際教養を身に付けた優秀な人材を世界に向けて輩出し、日本の高等教育や英語教育の先駆者となっていきたいと考えています」



AIUの学生たちは、秋田市郊外にあるこのキャンパス内で一日のほとんどを過ごす

国際教養大学

2000年4月に「秋田県国際系大学(学部)検討委員会」が設置され2004年4月に公立大学法人国際教養大学として開学。「国際教養」を教学理念に掲げ、教養教育と外国語のコミュニケーション能力を養うことに重点を置いた特色ある教育を行っている。多様な人材を集めるため、ギャップイヤー入試や9月入学制度なども導入している。また、教育・研究に加えて地域貢献を柱とし、秋田県内の教育機関との連携や公開講座の開催なども行っている。

IELTS

テストのコツ

ブリティッシュ・カウンシルに聞く

IELTS テストのコツ

by Philip Patrick (フィリップ・パトリック)

IELTS のテストについて4回にわたって紹介している本連載。今回は、ライティングモジュールのTASK 1について、うまく解答をまとめていくコツや戦略をいくつかご紹介しましょう。

まずは、下記の問題に挑戦してみましょう。

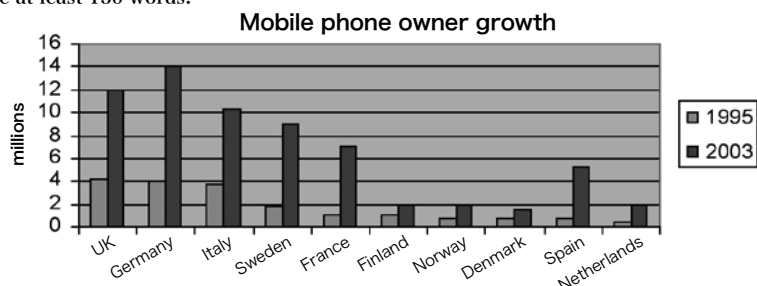
WRITING TASK 1

You should spend about 20 minutes on this task.

The chart gives information about people owning mobile phones in a number of countries in two years.

Summarise the information by selecting and reporting the main features, and make comparisons where relevant.

Write at least 150 words.



細部への言及ではなく最重要ポイントから

IELTS のライティングモジュールのTASK1は、グラフや表、数字、図版などが苦手な受験者にとっては難しく見えるでしょう。しかし、戦略を練り、気持ちを落ち着け、ここで紹介する方法に従って解いていけば、ずっとやさしく感じられるようになるはずです。

TASK1では、グラフや表について説明する問題（図表説明問題）、もしくは何かの過程や手順について説明する問題（プロセス説明問題）が出題されます。今回は頻出の図表説明問題の解法を中心に解説しましょう。

図表説明問題では、題材が複雑なものであれ単純なものであれ、まずは「(その表やグラフにおいて)何が最も重要なのか」を見極める必要があります。図表の細部にまで言及する必要はありません。与えられた情報に対して自分の意見を述べたり推測したりす

る必要はなく、そうすることで評価されることもありません。

では、その「最も重要なポイント」はどのようにして見極めればよいのでしょうか。誰かに向けて図表について描写し、それをもとに図表を再現するよう相手に要求するのでしょうか。あなたならどこから説明を始めるでしょうか。恐らく、最大はこれ、最小はあれ、というような一番印象的で重要な情報から伝えるのではないのでしょうか。突出した情報から着手するというのが鉄則なのです。

数字が大変シンプルな場合、例えば4つの国の消費について扱うケースでは、それぞれの国について触れることになるでしょう。一方、数字がより複雑な場合、例えば10種類の商品における消費を扱うケースでは、一つ一つに細かく言及するのは現実的ではありません。この場合は、例えばレジャー商品、食品、電化製品など、共通項のある情報をグルーピングする必要があります。

問題文中の表現は自分の言葉に

全体の構成はとても重要です。図表が何を表すのかを短くまとめた文章で解答を始めましょう。ただし、問題文中にある単語や、図表のタイトル、説明文をそのまま使った場合、その単語はカウントされず、必要語

“paraphrasing” の例：

(問題文) “This graph shows the average income in 6 European countries”

(解答) “The graph below describes how much money people earned on average in 6 countries in Europe”

最も重要な情報を最初のパラグラフに盛り込み、論理的に構成されたパラグラフで情報を記述します。解答にまとまりを持たせるために、パラグラフの中やつなぎ部分にはさまざまな接続語を用いるようにしましょう。firstly や secondly などは基本単語なので、in addition や similarly、conversely などの応用単語を用いるとよりよいでしょう。第三者があなたの解答を読んだときに、元の

数(150ワード)を満たせなくなります。まずは、設問にある表現の言い換えから始めましょう。“paraphrasing”(言い換え・書き換え)は、オリジナルの解答を作るための重要なスキルになります。過去問題集を見て、自分の言葉で表現することを意識しつつ、パラグラフを書き始める練習をしましょう。

情報を大まかに思い描けるよう、十分なデータを含めることを意識してください。

短い要約をつけることも忘れてはなりません。要約はとても重要で、これが欠けているとスコアにも影響が出てきます。この“overview”は図表の内容の短い要約であり、解答のどの位置に置いてもよいですが、最後に持ってくるのが一般的です。

図表説明問題の“overview”の例：

“We can see from this table that people’s life expectancy has increased dramatically in the past 100 years through different countries have experienced different rates of increase.”

体系的かつ論理的な手法で解答する練習を

最後に、プロセス説明問題についても補足しておきます。これは図表説明問題とは異なるもので、ときどき出題されます。この問題では、何かが作られる過程や何かが起こ

る過程について説明します。文法的にはとてもやさしい問題で、能動態と受動態を混在させつつ、主に現在形を使って書くのが自然です。まとめも難しくなく、その過程の複雑さについて触れつつ、手短かに要約しさえすればよいのです。

プロセス説明問題の“overview”の例：

“We can see that the production of motor cars is a complicated process involving several stages and a great deal of time. / The process by which teams qualify for the World Cup is a lengthy one and is slightly different in each part of the world.”

TASK1の解答に必要なのは、最重要ポイントについての記述、十分な情報、優れた構成、そして豊富な語彙です。優れた解答を書けるようになるためには、体系的かつ論理的な手法が必要になります。そしてこれは、

練習することにより習得したり磨いたりできるスキルです。TASK1は面白い問題ではないかもしれませんが、正しいやり方で勉強すれば、私のようなグラフ嫌いの間でも克服することができるのです。

Model answer

The bar chart shows the increase in the number of mobile phone users in Europe in 1995 and 2003. Overall, the number of owners rose considerably in all countries over the period. In some of them, the figure more than doubled.

The largest number of users was in the UK, Germany and Italy, where there were dramatic increases from approximately four million in each country in 1995 to twelve million, fourteen million and about ten million respectively in 2003.

In Sweden, France and Spain there were even more dramatic rises in phone use from under two million users in each country in 1995 to roughly nine million, seven million and five million respectively in 2003.

However, the number of owners in the three Nordic countries, Finland, Norway and Denmark, together with the Netherlands grew only steadily from approximately one million users in 1995 to two million in 2003.

世界が認める人材へ、
世界が認めるIELTSで

The test that opens doors around the world

- IELTS(アイエルツ・International English Language Testing System)は英語圏への留学や、移住を志す人のための英語運用能力試験
- 信頼性、公平性の高さからイギリス、オーストラリア、アメリカ、カナダ等の135の国と地域・6000以上の大学・政府機関・多国籍企業で採用、全世界で年間150万人が受験
- 日本では、札幌、仙台、東京、横浜、金沢、名古屋、京都、大阪、神戸、岡山、広島、福岡で開催。日本英語検定協会とブリティッシュ・カウンシルの共同運営により利便性が向上
- ペーパーベースで筆記は記述中心、スピーキング試験はネイティブスピーカーの試験官との1対1の面接形式
- 生きた英語を学び取れる、実際の場面に即した出題形式
- ブリティッシュ・カウンシルではIELTS試験対策コースを東京・横浜で開講 www.britishcouncil.or.jp

お問い合わせ・受験申し込みは(財)日本英語検定協会IELTS事務所まで www.eiken.or.jp/ielts

BRITISH COUNCIL

財団法人 日本英語検定協会

(財)日本英語検定協会とブリティッシュ・カウンシルは、日本でのIELTSを共同運営しています。

This month's selection from The Japan Times

Educators push to get academic levels back up as universities lower bar to survive

Student count, knowledge sliding

Minoru Matsutani

STAFF WRITER

Education experts have for years been lamenting the academic decline of young Japanese.

Teachers have complained that an increasing number of college students lack even the basics that should have been driven home in junior high school. Students' math and science skills have markedly worsened, and many struggle to deal with fractions and decimal point calculations.

The following will attempt to address why this is happening and what direction university education will take:

When did the decline in academic skills gain attention?

Teachers began noticing the decline in university students' capabilities in the mid-1990s.

Since then, the media have frequently looked at the problem and teachers have written books, including "University Students Who Cannot Solve Fraction Problems," published in 1999.

Kotaro Takahashi, an official at the Education, Culture, Sports, Science and Technology Ministry, said that while academic skills are declining overall, a greater deterioration appears to be surfacing in universities of medium to low academic focus.

One recent case stands out. Astronomy professor Mitsumi Fujishita of Tokai University's industrial engineering department gave his freshmen and sophomores a quiz on the basics in April and May 2011. A quarter of the 667 tested incorrectly answered the question "to which direction does the sun set?"

Three quarters of them said the west, 22 percent said the east, and the rest answered south or north.

To the question: "Which of the following — the sun, the moon or Mars — orbits the Earth?," only 54 percent correctly said the moon.

What is behind the apparent, or at least statistical, academic decline of university students?

The decline is not because Japanese are studying less, but because universities — amid the falling birth-

rate and greater competition to keep enrollment up — are increasingly accepting youths whose academic levels would have been too low to pass entrance exams a few decades ago, experts said.

For example, the population of 18-year-olds plunged to 1.2 million this year from 2 million in 1991, but the number of freshmen enrolled stayed at a constant 500,000 to 600,000 for each year in the 20-year period, Takahashi, the education official, said.

This means there has been a drop in the percentage of high-level university students, but not necessarily a drop in the percentage of high-level youths.

To ensure enrollment, and thus profit, stay up despite the demographic decline, some universities have chosen to accept high school students without requiring them to take entrance exams, or give them tests that cover fewer subjects. In this manner, colleges have opened the door to high school students of lower academic ability.

Those exempted from the exams get in via the AO (admission office) track, in which universities screen new students with interviews and assess their high school achievements. Universities originally used the AO track to recruit people with unique skills, but now it is just a gimmick used by low-level universities to attract students.

A change in national education policy may also have abetted the academic slide.

The ministry regulated college enrollment until the late 1980s, when it began shifting authority on management decisions to universities in the early 1990s, allowing schools to maintain their enrollment numbers despite the decline in 18-year-olds, Takahashi said.

Can the academic decline also be attributed to the "yutori kyoiku" (relaxed education) policy?

Possibly, but not to the extent the decline in young people has created. The relaxed education policy was introduced in the 1990s for elementary, junior high and high school students with the goal of allowing them more leeway to be creative instead of focusing solely on rote memorization



The drill: University students seeking jobs congregate at a recruiting event in December in Fukuoka where companies held seminars to explain their products and businesses. KYODO

of facts and figures — the key components of what was known as "entrance exam hell" at the time. Under *yutori kyoiku*, schools cut students' exposure to math, science, history, English and Japanese, and effectively ended most Saturday classes.

The policy was later blamed for dumbing down kids' skills, and schools later reverted back to the rote memorization approach.

"It is clear that amid the declining number of children, universities are rushing to create new departments (to attract students) in order to survive. This is leading to lower academic achievement," Toshihiro Kawamoto, chairman of the Japan Achievement Society, said in his book "Nabakari Daigakusei — Nihongata Kyouiku Seido no Shuen" ("University Students in Name Only — the End of the Japanese Education System"), published in December 2009.

The relaxed education policy didn't lower academic achievement across the board, but widened the gap between the academically inclined and the challenged because some children continued to study hard at cram schools while others opted not to after realizing they would be able to get into university easily, he said in the book.

What can universities or the government do to rectify the problem?

Keeping the door open to people who want to go to college is not a bad thing, but universities must make students hit the books harder and make it more difficult to graduate, Kawamoto said in his book.

He noted that university students in Japan probably face the loosest academic requirements for gradua-

tion. Japan's university dropout rate was 10 percent in 2005, the lowest in a survey of 27 developed countries, according to OECD statistics in Kawamoto's book. The average dropout rate listed by the OECD was 31 percent, with Italy at 55 percent and the United States at 53 percent.

Of course, poor academic performance is not the only factor behind dropout rates.

Although less the case in Japan, in other economies some people are forced to drop out because they can't afford the cost while others are eager to jump into the workforce before graduation.

But Kawamoto is very critical of the domestic situation: "Japan's current educational environment is one in which high school students who don't study can enter universities, and university students who don't study can graduate. This is a global rarity."

An easy solution to halt the decline in academic levels would be to decrease the quota for university enrollment. But that is not the right way to go, Kawamoto said.

"For example, decreasing the number of medical students will result in a shortage of doctors. Similarly, decreasing the number of university students will result in a shortage of skilled people," he said. "We should expand and educate students instead of scaling things down."

Accepting more foreign students with strong skills and knowledge will improve the overall academic achievement statistics. Foreign students, mainly at universities but also at other schools, numbered 49,000 in 1991 and 140,000 in 2010. The government aims to raise the number to 300,000 by 2025.